

- ビッグデータの特徴については、データの利用者やそれを支援する者それぞれにおける観点から異なるが、主に、多種性、リアルタイム性、多量性等が共通した特徴。

## データを利用する者の視点から捉えた特徴(例)

[参考] 鈴木構成員説明資料(第4回)

- ☞ 個別に、即時に、多面的な検討を踏まえた付加価値提供を行うという観点において、事業に役立つ有用な知見として活用されるデータの特徴は、例えば、次の3つのとおり。

### 高解像

事象を構成する個々の要素に分解し、把握・対応することを可能とするデータ

### 高頻度

リアルタイムデータ等、取得・生成頻度の時間的な解像度が高いデータ

### 多様性

各種センサからのデータ等、非構造なものも含む多種多様なデータ

- ☞ 以上により、結果として、ビッグ（大きな）ボリューム（量）のデータが必要（**多量性**）

## データの利用を支援する者の視点から捉えた特徴(例)

[参考] 日本アイ・ビー・エム説明資料(第2回)  
エヌ・ティ・ティ・データ説明資料(第4回)  
インテル説明資料(第5回)

- ☞ 以上のようなデータの利用者を支援するサービスの提供を行うという観点において、同サービスが対応可能なデータの特徴は、例えば、以上の**多量性**も含み、次のとおり。

### 多源性

複数のデータソースにも対応可能

### 高速度

ストリーミング処理が低いレイテンシーで対応可能

### 多種別

構造化データに加え、非構造化データも対応可能